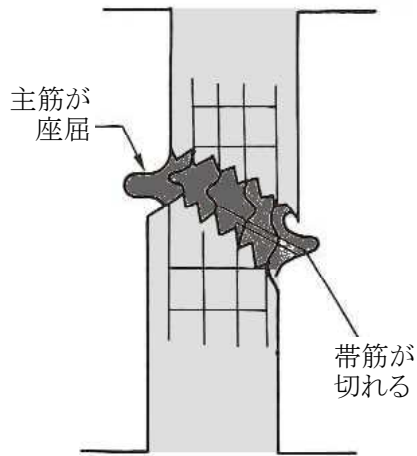


せん断破壊の防止と曲げ破壊

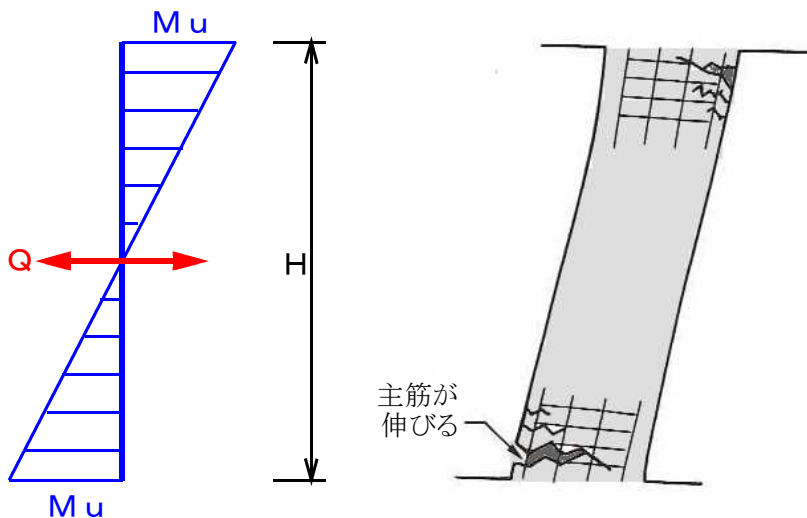
せん断破壊

- ・柱の中間付近で起こる
- ・帯筋が切れ、主筋が座屈



曲げ破壊

- ・柱頭、柱脚部分で起こる
- ・主筋が降伏し、粘りを発揮



$$\text{せん断耐力} > Q = \frac{M_u + M_u}{H} \quad \rightarrow \quad \text{せん断破壊の防止}$$

柱のせん断力 Q は、柱頭、柱脚が曲げ降伏した時に発生する値より大きくなるので、この値以上にせん断耐力を高めておけば、せん断破壊が防止できる。